

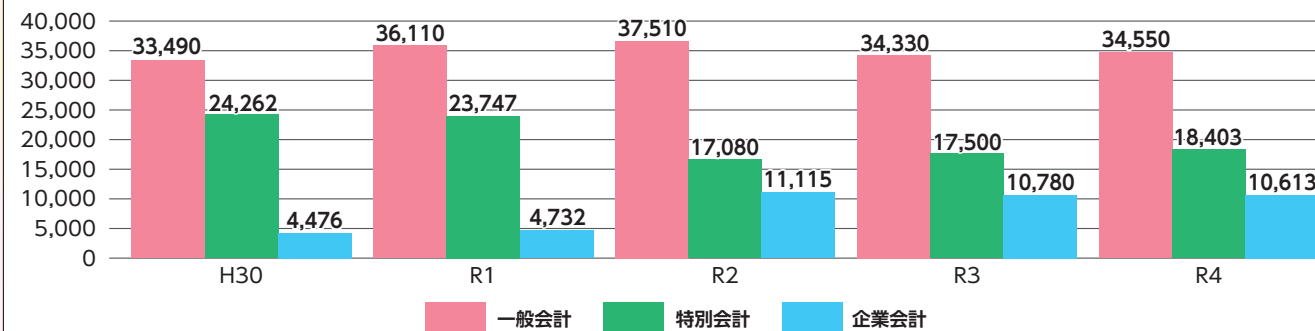
企業会計 総額106億1,263万円

会計名	予算額
水道事業	収入 12億2,244万円 支出 16億9,584万円
下水道事業	収入 71億9,177万円 支出 87億762万円
国民宿舎事業	収入 1億3,671万円 支出 2億917万円

特別会計 総額184億259万円

会計名	予算額	会計名	予算額
学校給食センター事業	19億1,776万円	後期高齢者医療事業	11億9,676万円
土地取得造成事業	400万円	介護保険事業	69億5,802万円
揖龍公平委員会事業	84万円	病院事業債管理事業	1億5,500万円
国民健康保険事業	81億7,021万円		

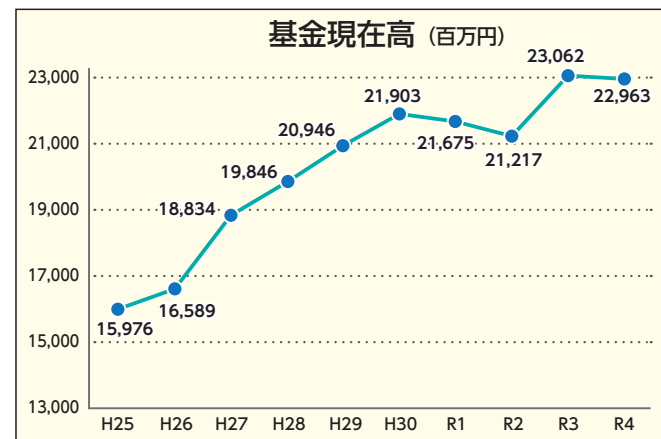
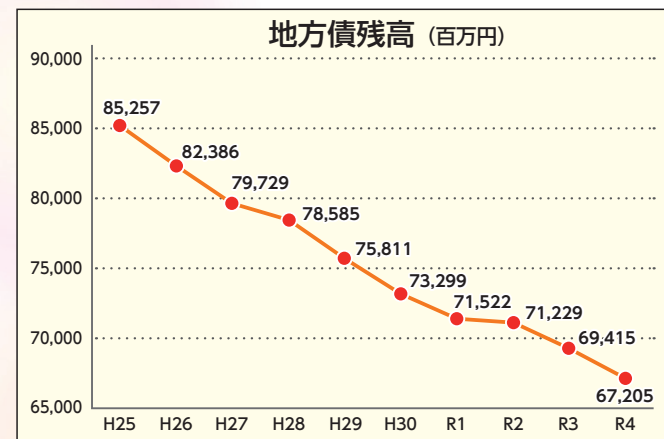
一般、特別、企業会計の予算推移（百万円）



健全な財政運営

投資的事業等の資金とする地方債（家計で言うところのローン）の令和4年度残高見込額は672億500万円、一方で公共施設整備や財源不足時の備え等のために積み立てた基金（家計で言うところの貯金）の現在高見込額は229億6,300万円となっております。

地方債については、新規借入れよりも過去の借入れの償還が進んでいるため減少傾向にあります。有利な地方債を発行するなど、計画的な活用に取り組んでいきます。基金については、将来の公共施設の整備に備えた積立てなどにより増加しました。今後も計画的に投資的事業等に活用しながら健全な財政運営に取り組んでいきます。



※いずれも、一般会計、特別会計及び企業会計の合算値です。

令和4年度予算の主な投資的事業

- 北学校給食センター整備事業
- 総合隣保館整備事業
- 農地耕作条件改善事業
- 市営住宅長寿命化整備事業
- 小宅小学校校舎増築事業
- 構教育集会所改築事業

未来応援 住みたいまち たつの 「新たな時代へ 持続可能なまちの構築に向けて」

令和4年度
当初予算

予算総額 635億6,521万1千円 （対前年度 9億5,600万8千円の増）
一般会計 345億5,000万円 （対前年度 2億2,000万円の増）

一般会計歳出予算の主な構成

民生費	34.9%	120億4,084万円 市民1人あたり 約16万1,129円	子育て支援施策や高齢者・障害者のための福祉施策などに要する費用
土木費	17.9%	61億8,058万円 市民1人あたり 約8万2,708円	道路の建設・修繕や市営住宅の管理運営などに要する費用
教育費	10.3%	35億4,812万円 市民1人あたり 約4万7,480円	小・中学校の教育や教育施設の維持管理、文化スポーツの振興などに要する費用
公債費	9.9%	34億1,310万円 市民1人あたり 約4万5,674円	道路や公共施設の建設のための借入金の返済に要する費用
総務費	9.6%	33億1,658万円 市民1人あたり 約4万4,382円	市役所の整備・管理や住民票の発行、選挙の執行などに要する費用
衛生費	7.8%	27億857万円 市民1人あたり 約3万6,246円	予防接種の実施や健康増進事業の実施、ゴミ・し尿の処理などに要する費用
その他	9.6%	33億4,221万円 市民1人あたり 約4万4,725円	消防団車両の整備や商工業の振興、有害鳥獣対策、市議会の運営などに要する費用

令和4年度予算の重点と主な事業

社会的包摂と満足度の高いまちづくり

- 高校生等医療費助成事業（通院医療費助成の拡充）
- 妊活サポート事業（妊活応援金給付事業）
- 予防接種事業（子宮頸がんワクチン接種）
- おたふくかぜ予防接種助成事業
- 母子家庭等医療費助成事業（助成対象者の拡充）
- 敬老えらべるギフト事業
- パートナースHIP宣誓制度運営事業
- 私立保育所等運営費（一時預かり事業補助金）
- 小中一貫教育推進事業
- 小中一貫校整備事業

暮らしやすさが誇れるまちづくり

- 龍野IC周辺まちづくり区画整理事業
- 竜野駅周辺整備事業
- 龍野公園・動物園事業
- 観光誘客戦略事業
- 町並み環境整備事業
- 事業承継促進事業

新たな時代に順応した自治体DX

- スマート自治体の実現に向けた外部人材活用
- 市民の利便性を図るデジタル化事業
- 庁内事務の効率化を図るデジタル化事業

※令和4年1月31日現在の人口74,728人をもとに市民1人あたりの額を算出しています。
また、円単位未満は四捨五入しています。
※本ページ内の表中数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。